

2024年4月30日
出光興産株式会社

有機 EL フルカラーディスプレイ実用化への貢献で
令和6年春の褒章において紫綬褒章を受章

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：木藤 俊一、以下「当社」）社員の舟橋 正和（ふなはし まさかず）が、令和6年春の褒章「紫綬褒章」を受章しました。紫綬褒章は、科学技術分野における発明・発見や、学術およびスポーツ・芸術文化分野における優れた業績を挙げた個人に授与されます。今回の受章は、高効率かつ長寿命の青色発光技術の発明により、有機 EL 発光において実用レベルでの三原色発光が可能となり、近年の有機 EL フルカラーディスプレイを搭載した高機能機器の実用化に大きく貢献したことが評価されました。



有機 EL 材料



有機 EL 素子の発光評価

受章内容

業績名：高効率かつ長寿命の青色有機 EL 発光素子の開発

受章者名：舟橋 正和（ふなはし まさかず）

業績の概要：

当社は 1985 年より世界に先駆けて有機 EL 材料の研究開発を開始し、当時、光の三原色である赤・緑・青のうち、特に実用化が困難であった青色の発光材料の開発に注力してきました。当社が開発した青色発光技術は、フルカラーディスプレイに求められる色純度の高い青色発光と、長寿命化を実現し、2007 年には世界で初めて販売された有機 EL テレビに採用されるなど、有機 EL フルカラーディスプレイの実用化に大いに貢献しました。現在は、同技術を含めた応用研究を進め、スマートフォンやテレビなどのさまざまな製品に当社の有機 EL 材料が採用されています。

世界トップクラスの品質・性能を実現する技術力のもと、当社は、今後も有機 EL ディスプレイの発展に貢献する技術・材料を提供してまいります。

受章者コメント

近年、拡大している有機 EL ディ스플레이市場の発展に、本発明により貢献することができ、大変光栄です。栄誉ある紫綬褒章を受章した本発明は、受章者である私以外にも、当社の有機 EL 材料研究の先駆者である細川地潮（故人）、松浦正英、福岡賢一をはじめ多くの当社社員が関わっており、技術開発の総力を評価いただいたものと考えています。今後も材料メーカーとして、現状の課題に挑戦し続け、有機 EL ディ스플레이がさらに世界に広がることに貢献すべく、有用な材料開発を進めていきます。

■石油会社がディスプレイ業界を本気にさせた開発秘話（受賞者インタビュー）

<https://www.idemitsu.com/jp/company/interview/index.html>



< 関連リンク >

- ・ 当社の電子材料事業

<https://www.idemitsu.com/jp/business/denzai/index.html>

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課

https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease_flow/index.html